

# 市報 やまぐち

2023

10/1

October  
No.421



特集

地域と連携・協働した  
小中一貫教育で育む「本物の学力」 2

■公共交通を利用して未来につなごう！ 6

■多文化共生のまちづくりを目指して 8

■市政トピックス 11

■イベントカレンダー 14

図2 小中一貫教育で期待される効果

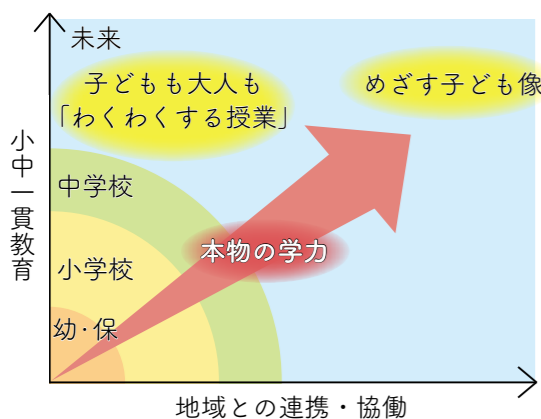
- |   |  |
|---|--|
| 学習指導面では…<br>・学習習慣や学習規律の定着<br>・学習意欲の向上<br>・勉強が楽しくなる など | 生徒指導面では…<br>・学校生活への不安の解消<br>・学校生活への満足度の高まり<br>・愛校心の向上 など |
|---|--|



小・中学校9年間を列車に見立て、「どのような子どもに育ってほしいか」という「めざす子ども像」を目的地に例え、これまで、小・中学校でそれぞれが目的地をめざし、小学校号が目的地に到着した後、中学校号に乗り換えをするイメージでした(2ページ図1A)。

こうした中、中学校へ進学し、新しい生活指導や学習規律、学習スタイルなどの違いに戸惑いを覚える子どもたちがいることが分かりました。そこで、「小中一貫号」という列車で、小・中学校で同じ目的地をめざす(めざす子ども像を統一する)ら、めざす子ども像の実現に向けて一貫した教育活動を行っていきます。

図3 「本物の学力」育成のイメージ



こととし、9年間の連続した切れ目のない教育を行っていくこととしました(2ページ図1B)。

その中でも特に、小・中学校で日々行われている授業で、子ども同士が生き生きと関わり合うことを通して、子どもたちが「分かった」「できた」「みんなが考えると楽しいな」「次の授業も楽しみだな」と思うことができる「わくわくする授業」づくりをめざします。子どもたちが「知る・考える・分かる」楽しさや、自分自身の成長、友達と学ぶ喜びなどを感じることであれば、子どもたちのさらなる学習意欲の向上や自己肯定感の高まり、思いやりの心の醸成につながります。今後、小・中学校の教職員が一緒に進める授業「づくりを進めていきます。」

こうした「小中一貫号」での取り組み



用語解説

※1 コミュニティ・スクール

地域住民の意向を学校運営に反映させることができる「学校運営協議会」を設置した学校のこと。  
保護者と地域住民が学校運営や必要な支援を協議することで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育を提供していくための制度です。平成24年度から市内全ての公立小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。

※2 地域協育ネット

中学校区の地域づくり協議会や自治会、青少年健全育成協議会などの地域団体がネットワークでつながり、学校を核とした地域づくりをめざすための仕組みのこと。  
市内17の全ての中学校区にあり、学校運営協議会の協議内容を共有し、連携・協働しながらその実現をめざしており、子どもたちが地域づくりに関わっています。

次のページから、市内の小・中学校で広がる取り組みをご紹介します。

本物の学力

子どもたちが未来を生きぬく力の核となるもの

「知識・技能」  
「思考力・判断力・表現力」  
+  
非認知能力  
(数値で測ることが難しい資質・能力)

- 「学ぶ意欲・挑戦する力・やりぬく力・自己決定力・自己調整力・自己肯定感・自己有用感」
- 「思いやりの心・コミュニケーション力・協働する力」
- 「地域や郷土を愛する心」など

今、求められる「本物の学力」とは？

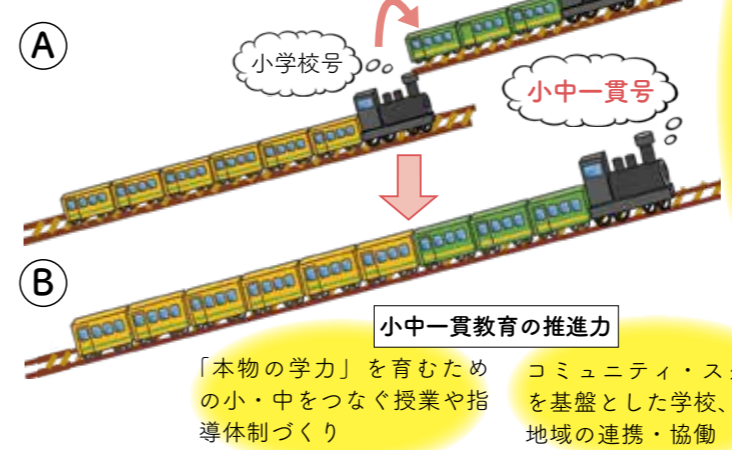
現在、私たちを取り巻く社会は年々変化の速度を増し、これからの未来を正確に予測することが困難な時代になってきています。

そうした先行きが不透明な時代にあっても、子どもたちが幸せの実現をめざして自分らしく豊かに生きていくためには、「自ら学び続けること」が大変重要です。そのためには、「本物の学力」を身に付けていく必要があると考えています。

「本物の学力」とは、試験やテストの点数で測ることができる「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」だけではなく、学ぶ意欲や挑戦する力、自己肯定感、コミュニケーション力、地域や郷土を愛する心など、数値化が難しい、いわゆる「非認知能力」をより重視した本市独自の学力観であり、未来を生きぬくための学力です。

本市では、学校を中心に、家庭を含めた地域社会全体を一つの教室として捉え、地域と連携・協働した小中一貫教育

図1 小中一貫教育のイメージ



を進めていくことで、「本物の学力」の育成をめざしています。今回は、こうした「本物の学力」の育成に向けた、さまざまな取り組みをご紹介します。

本市の小中一貫教育とは？

「小中一貫教育」と聞くと、「学校を統合する」という印象をもたれやすいですが、本市の小中一貫教育は、既存の小学校と中学校の枠組みを残しつつ行います。同じ中学校区の小・中学校の教職員が、「校舎は離れていても心は一つ」を合言葉に、互いの授業の様子や子どもたちの成長などについて情報交換をしなが

目的地(めざす子ども像)

## 学校、家庭、地域の連携・協働

各中学校区の地域協育ネット等で、教職員、保護者・地域の方々が連携・協働し、小・中学校共通のめざす子ども像や「どんな地域にしていきたいか」を共に考え、その実現に向けた研修会などの取り組みを行っています。

### 秋穂地域協育ネット

めざす子ども像「自立する子ども」の育成に向けて、小・中学校の教職員、保護者や地域の方が参加し、研修会を行いました。

グループでの討議で、「自分の考えをもち、伝えられる子」「集団生活のルールを守れる子」などの具体的なイメージを共有し、それぞれが共通して取り組めることについて考えました。



グループでの討議の様子

### 平川地域協育ネット

小・中学校の教職員、児童生徒の代表、保護者の方々が参加し、小中一貫教育の実現に向けた研修会を行いました。

グループワークでは、「学習を深めるために地域ができること」「あいさつでつながるためにできること」「学校や地域ができるSNSの効果的な活用方法」など、協力してできることを考えました。



グループワークの様子

### 徳地イングリッシュ・キャンプ

「どんな徳地になってほしいか」について、児童生徒、教員、保護者、地域住民で話し合い、「みんな大好きふるさと徳地～地域で協力し、交流の絶えない住みやすい徳地～」のスローガンを決定しました。また、スローガンの具現化に向けて、「徳地発の国際交流」を視点とした「徳地イングリッシュ・キャンプ」を開催しました。

徳地地域在住の海外出身者や市国際交流員、ALT（外国語指導助手）と交流を深めながら、徳地和紙のランタンづくりやスペイン文化・料理体験、ネパールの中学生とのオンラインでの英会話を通じた交流に取り組みました。参加した27人の小・中学生は、英語や外国文化を存分に楽しみ、親しむことができました。

#### 【参加した中学生の感想】

・講師の先生の英語も聞き取ることができ、小学生にも英語を使いながら教えることができて良かったです。

#### 【参加した中学校教員の感想】

・子どもたちの視野を広げ、地域への愛着を育むだけでなく、小学生が中学校での学びに興味をもつきっかけにもなりました。



①



②

①徳地地域協育ネット協議会での話し合いの様子／②徳地和紙のランタンづくり体験の様子

今後、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を市民の皆さんと共有しながら小中一貫教育を推進していきますので、ご理解と協力をよろしくお願いいたします。

本市では、既存の小・中学校の枠組みを残したまま、小・中学校の教職員が9年間の学びを担う意識をもち、「本物の学力」を育むための授業づくりを推進しています。今年度は全ての小・中学校で小中一貫教育の試行・研究を行い、来年度から全面実施する予定です。

「保護者・地域の方々と進める小中一貫教育」



学校教育課指導主事 中田 健一

## 小・中学校をつなぐ授業・指導体制づくり

本市の小中一貫教育では、中学校区ごとに「小中の9年間を通して育みたい資質・能力の重点」を明確にした授業を行っています。多くの中学校区で、小・中学校の教員が互いの学校を行き来しながら、授業を見合ったり、一緒に授業を行ったりすることで、「わくわくする授業」づくりをめざしています。



①



②



③

①大殿小学校での大殿中学校教員による授業の様子／②大殿小・中学校の教員と一緒に教える大殿中学校での授業の様子／③小中合同授業研究会での教員による授業参観

### 大殿小・中学校

大殿中学校区では、9年間を通して育みたい資質・能力の重点を「表現力の育成」とし、小・中学校の教員一人一人が、表現力の育成を意識した日々の授業づくりを行っています。

また、中学校教員が小学校で授業を行うとともに、中学校で小学校教員と中学校教員と一緒に授業を行っています。そうすることで、子どもたちをより深く理解するとともに、小・中学校それぞれの指導方法の良さを交流しながら、指導力の向上にも役立てています。

さらに、年2回、小・中学校の教職員が一堂に会して授業研究会を行っています。1学期には、中学校2年生の理科の授業を全員で参観し、研究協議を行いました。今後も、より良い授業のあり方を考え合いながら、さらなる授業の改善を進めていきます。

#### 【小学校教員から授業を受けた中学生の感想】

・分からないときに教えてもらえて良かったです。小学校のときに習った先生なので、質問しやすかったです。

#### 【小学校で授業をしている中学校教員の感想】

・毎週金曜日に、小学校の算数の授業で指導をしています。6年生の子どもたちは、普段から落ち着いた様子で、真面目に学習に取り組んでいる子が多いです。小学校での学習内容や、指導の際に大切にされていることなどを、話を聞くだけでなく実際に見ることが、授業づくりのプラスになっています。



大殿中学校 永富 大樹 教諭

### 仁保小・中学校

中学校教員が小学校の授業に、小学校教員が中学校の授業に参加し、一緒に指導する機会を多く設定しています。また、小・中学校の児童生徒と一緒に授業を受ける合同授業も実施しています。

この取り組みでは、お互いの授業の良さや足りない部分を共有することや、授業づくりで大切にしたい共通の視点（子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を育むための工夫、教員の働きかけ、学習規律等）をもち、日々の授業に取り組んでいます。

#### 【中学校教員から授業を受けた小学生の感想】

・中学校の先生の授業は楽しかったし、分かりやすかったです。先生の話ちゃんと聞いて、中学校の勉強も頑張ろうと思いました。

#### 【小学校で授業をしている中学校教員の感想】

・小・中学校の学習内容のつながりがよく分かり、中学校の指導にどうつながるか、イメージしやすくなっています。また、小学校での丁寧な指導や中学校に入学予定の子どもたちの様子を早い段階から見ることは大きなメリットだと感じています。



①



②

①仁保小学校での仁保中学校教員による授業の様子／②仁保小・中学校の児童生徒が参加した合同授業の様子



# かんたん気軽に借りて返せるシェアサイクル

シェアサイクルは市内のポート（専用の駐輪拠点）であれば、どこでもレンタル、返却できます。

## かんたん3STEP!

### STEP01 会員登録

ecobike アプリをダウンロード ▶



iOS

Android

### STEP02 借りる

ポートでアプリを使って自転車を解錠

### STEP03 返却する

ポートで自転車の鍵を開け、アプリ上で【返す】をタップ

### ▶利用料金

30円/15分 上限（8時間未満ごと）700円

### ▶利用時間

24時間

### ▶ポート

市内32カ所 ポート配置MAP ▶

### ▶決済方法

クレジットカード・キャリア決済



# 公共交通を利用して未来につなごう！ ～マイカーに頼り過ぎないまちづくり～



私たちの暮らしを支える公共交通の利用者は、年々減少傾向にあります。子どもから高齢者、自家用車を運転する人も、しない人も、誰もが公共交通を利用できるまちであり続けるために、公共交通についてあらためて考えてみませんか。

交通政策課 ☎ 083-934-2729

## JR山口線は全線開通 100周年

他の公共交通と共に地域の発展、市民の暮らしを支えてきた山口線。今年、山口線は新山口駅から益田駅までの全線が開通して100周年を迎えました。市では、山口線を未来につなぐため、さまざまな事業を展開しています。

### 山口線全線開通 100周年記念マーク



山口線全線開通100周年を記念してロゴマーク・ヘッドマークを作成しました！山口県PR本部長の「ちよるる」と島根県観光キャラクターの「しまねっこ」の両キャラクターを円でつなげることで、山口県と島根県、また山陽と山陰を広域に結ぶ山口線のつながりを表現しています。

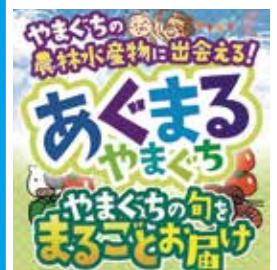
### ICカード乗車券でもっと便利に



令和5年4月1日から湯田温泉駅と山口駅、山陽線の新南陽～下関駅間の各駅で新たにICカード乗車券が利用できるようになりました。その他にもコミュニティバス、一部の路線バス・タクシーでも交通系ICカードが使えるようになりました。

令和5年4月1日から湯田温泉駅と山口駅、山陽線の新南陽～下関駅間の各駅で新たにICカード乗車券が利用できるようになりました。その他にもコミュニティバス、一部の路線バス・タクシーでも交通系ICカードが使えるようになりました。

### 山口のいいに出会う



山口線の駅周辺で農林水産物のマルシェ（あぐまるやまぐち）を毎月開催しています。10月15日（日）は山口線を利用して道の駅「長門峡」にご来場いただいた方に、あぐまるやまぐちで使える特典があります。ぜひ、お越しください。

- ▶ 10月15日（日）道の駅「長門峡」
- ▶ 10月21日（土）新山口駅南北自由通路



### 山口線に乗って行こう！



児童・生徒等が参加する遠足や、社会見学、修学旅行、スポーツ交流会等のうち、山口線を利用する活動について、運賃の一部を助成します。（令和6年3月15日まで）

対象者や応募様式の詳細はこちらから ▶



### 公共交通ふれあいフェスタ



10月23日（月）～29日（日）の1週間を、山口市民公共交通週間として、公共交通の利用促進などに取り組みます。10月29日（日）は「公共交通ふれあいフェスタ」を中央公園で開催します。ぜひ、公共交通を利用して会場にお越しください。

ぜひ、公共交通を利用して会場にお越しください。

## 公共交通の存続と維持のために

近年、公共交通離れが進み、利用者の少ない路線が廃止されるなど、公共交通の存続は厳しさを増しています。しかし、学生や高齢者など交通手段を持たない方にとって公共交通は大切な社会基盤です。これからも安心して住み続けられるよう、公共交通を維持・確保していくことが重要となります。例えば、月に一度は公共交通を利用するなど、一人一人が普段の生活の中で少しずつ公共交通の利用を増やしていくことが大切です。マイカーに頼り過ぎないまちづくりを一緒に考えていきましょう。

① 最近ずっとガソリン価格が高くて大変だよ。

山口市はガソリンの購入量が日本一「※」だから、ガソリン価格高騰の影響は大きいよね。

では、鉄道やバス、タクシーなどマイカー以外の交通手段も考えてみてはどうか？

② うーん。車以外は不便そうで・・・

運行本数は何本？ 駅やバス停までの距離が・・・

確かにマイカーは便利だよ。でも、マイカー以外の公共交通も使い方によっては便利だし、いいところがいっぱいあるよ。

③ 公共交通を使うとこんなメリットがあります！

- 環境にやさしい (CO<sub>2</sub> 排出量が少ない)
- 渋滞の緩和
- 健康に良い (最寄り駅まで歩く等)
- 家計にやさしい (ガソリン代がかからない)

シェアサイクルを組み合わせると、交通拠点間の連絡やきめ細やかな移動ができて、さらに便利です！

④ 山口駅まで鉄道・バスで行き、専用アプリを使ってシェアサイクルを借ります。

ヘルメットの無料貸し出しもあるよ。

⑤ 商店街で買い物をして、一の坂川交通交流広場のポートに返却。

空調の効いたバスに乗れば、快適に帰宅できます。

⑥ みんなで公共交通を使えば、未来の山口市の移動手段を支えることにもつながります。

マイカーと公共交通を上手に使い分けた、マイカーに頼り過ぎない生活。山口市の未来のために早く取り入れてみます！

【※】出典：総務省統計局 家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング（2020年（令和2年）～2022年（令和4年）平均）

### 「語学支援を通じた共生」



日本語クラブ山口代表  
ふきや ようこ  
吹屋 葉子さん

**どんな活動をしていますか？**  
日本語クラブ山口は、「外国人のための日本語講座」や、外国人に日本語を教える方法などを学ぶ「日本語ボランティア養成講座」の運営等を行っています。

**活動のきっかけは？**  
市報で日本語ボランティア養成講座を見つけ、高校の国語教師をしていた経験が生かせると思い、受講したことから始まりました。外国人市民が感じる不便を少しでも解消したいという思いで現在も活動を続けています。

#### 日本語講座ってどんなところ？

外国人市民にとって日本語講座の受講は、言語の上達につながるだけでなく、日常生活で社会に踏み出すきっかけになることもあります。また、受講を通じて外国人市民がさまざまな人とつながる場所にもしていきたいです。

**これからの活動に対する思いを聞かせてください。**  
講師が日本語教育の専門性を高め、外国人が日本語をしっかり学習できる講座を続けるとともに、行政をはじめ、外国人の生活支援を行っている各団体、雇用機関等と協力・連携しながら地域の多文化共生を進めていきたいです。

生活習慣の違いなどでトラブルがあった時、拒絶するのではなく、あまり難しく考えずに、まずは一声かけたり、積極的に関わろうとする人が増えていく、そんなまちになってほしいですね。

**やさしい日本語**  
日本で暮らす上で、外国人市民と日本人の主な共通の言語は日本語となります。「やさしい日本語」とは、難しい言葉を相手が理解できる簡単な（やさしい）日本語に言い換える等、相手に配慮した日本語の事です。言葉の言い換えだけでなく、ゆっくり話すなど、相手に合わせて会話することも「やさしい日本語」の一つです。

**多文化共生の地域づくり**  
これからのまちの活性化のためには、外国人市民も一緒に取り組んでいく必要があります。外国人市民にも暮らしやすく、活躍できるまちづくりを進めるためには、市民全員がお互いを尊重する意識を持ち、相互理解を深めていくことが重要です。このため、本市では、地域や学校に出向いて異文化理解を分かりやすく学べる出前講座や、市内に住む外国人市民と交流できるイベントの開催等を通じて、文化や生活習慣の違いを互いに理解し合いながら、多文化共生のまちづくりを進めています。また、多文化共生のまちづくりを進めることは、自分たちが住むまちのこれからの「地域づくり」につながります。同じまちに住む隣人として、外国人市民と共に活躍するため取り組みを一緒に進めていきましょう。

### 外国人にもわかりやすいやさしい日本語を使ってみよう

ご要件を伺います	どうしましたか？	ごみを分別する	ごみを わける
ご出身はどちらですか？	国はどこですか？	高台に避難して下さい	高いところに にげて ください

活動の様子を  
山口市国際交流課  
Instagramで  
発信しています！



国際交流課 国際交流員  
ガルベス・ルイス・ヘマ  
(スペイン出身)

**山口市国際交流員 から見た多文化共生**  
生まれた国から離れると、人はよく「言葉の壁」「制度の壁」「心の壁」に直面するといわれます。私もその壁を感じたことがあります。私ですが、山口でこの壁を乗り越える手助けをしてくれた多くの方々と出会いました。これからも、その壁を乗り越えようと思う日本人と外国人市民をつなげ、増やせるように、山口市の多文化共生推進に貢献したいと思っています。出前講座や交流イベントなどを通じて、お互いを知ることによって壁を乗り越えて、山口をみんなが暮らしやすいまちにすることができたらうれしいです。

# 多文化共生のまちづくりを目指して



山口市に住む外国人市民が増加傾向にある中、国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていく「多文化共生社会」の構築の重要性が増しています。今回は、本市が進める、多文化共生社会の実現を目指した取り組みを紹介します。

国際交流課 ☎ 083-934-2725

**外国人市民も暮らしやすい環境の整備**  
本市には現在、アジア地域を中心に約2000人の外国人市民が暮らしており、人口に占める割合は1%を超えています。その国籍も50カ国を超え、日本とは異なる言語、生活習慣や文化を背景に暮らしている方々が増加しています。こうした中で、生活習慣や制度の違いから起こる生活面での支障が増えているほか、日本語でのコミュニケーションが難しい場面も増えています。このため、外国人市民も地域で安心して暮らすことができるよう、教育、医療、子育て、災害など多岐に渡る情報を自身で入手できる環境づくりとして、行政情報や生活情報の多言語化をはじめとした言葉のバリアフリー化を進めることが重要です。

**日本語を学ぶ環境**  
日本語を学習したい外国人市民への学習機会を提供するため、市では「外国人のための日本語講座」や、外国人に日本語を教えることに関心のある方を対象に、外国語が話せなくても、日本語で日本語を教える方法などが学べる「日本語ボランティア養成講座」を開催するなどの取り組みを行っています。また、市民団体が主催する「こどものための日本語教室」は、徐々に開催される地域が広がり、教室数も増えているほか、外国人市民に向けたオンラインによる日本語学習機会の提供も広がっています。

### 言葉のバリアフリー化



▲多言語化された防災ガイドとごみ分別ポスター

市報は、9つの言語に対応しています。(日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語)

### 日本語を学ぶ環境を整える



▲「こどものための日本語教室」

日本語を学習したい外国人市民向けの日本語教室を開催しています。外国にルーツのある子ども向けの日本語教室では、習字などの日本文化の体験や学びを通しての学習を支援しています。

## 多文化共生に向けた取り組み

### 多文化共生に関する講座



▲仁保中学校で開催されたスペイン講座

日本とは異なる文化や生活習慣などを知ることや、世界には多様な考え方があることや、お互いを知ることの重要性を学びます。

### 交流事業



▲「多文化共生推進委員会やまるち」が開催した「人をつなぐウォークラリー」

外国人市民と日本人市民が一緒に交流できる場をつくっています。イベント等をきっかけに市民同士がつながり、多文化共生の輪が広がっていきます。

# 令和4年度決算に基づく 財政の健全性を示す指標の算定結果を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により算定した4つの「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表します。

☎ 財政課 ☎ 083-934-2750

## 健全化判断比率

実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合です。山口市の一般会計等は、一般会計のほか、地域下水道特別会計、特別林野特別会計の合計です。この比率が大きいほど財政運営は厳しい状態です。	早期健全化基準 11.29 % 財政再生基準 20.00 %	赤字額は ありません
	山口市の状況は？ ⇒ 収支決算は黒字（約8億円）です。		
連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合です。全会計とは、一般会計等や水道事業、下水道事業など全事業の合計です。この比率が大きいほど財政運営は厳しい状態です。	早期健全化基準 16.29 % 財政再生基準 30.00 %	赤字額は ありません
	山口市の状況は？ ⇒ 収支決算は黒字（約60億円）です。		
実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合で、3カ年の平均で比率を算出します。この比率が大きいほど資金繰りが厳しい状態です。	早期健全化基準 25.00 % 財政再生基準 35.00 %	5.8%
	山口市の状況は？ ⇒ 比率の数値は良好です。		
将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合です。この比率が大きいほど将来の市の財政を圧迫することが見込まれます。	早期健全化基準 350.00 %	62.2%
	山口市の状況は？ ⇒ 比率の数値は良好です。		
資金不足比率	事業収入を基に、独立採算を原則として経営する公営企業※について、資金不足額と収益とを比較して指標化したものです。	経営健全化基準 20.00 %	資金不足は ありません
	山口市の状況は？ ⇒ 資金不足はありません。		

### 早期健全化基準 財政の悪化が警告段階であることを示す基準

4つの健全化判断比率の指標のうち、1つでもこの基準以上となった場合、「財政健全化計画」の策定が義務づけられ、自主的かつ計画的に財政の早期健全化を進めることとなります。

### 財政再生基準 財政が破綻状態であることを示す基準

将来負担比率を除く3つの健全化判断比率の指標のうち、さらに状況が悪化して、1つでもこの基準以上となった場合、「財政再生計画」の策定が義務づけられ、国の監督を受けながら財政の再生に取り組むこととなります。

### 経営健全化基準 早期に経営健全を図る必要があることを示す基準

資金不足比率が、経営健全化基準以上となった場合、「経営健全化計画」の策定が義務づけられ、自主的かつ計画的に経営健全化を進めることとなります。

本市は全ての指標において基準を下回っており、財政の健全性が保たれています。今後も分析を継続しながら、安定した財政運営に努めていきます。

● ウェブサイトでも今回の公表内容や、過去の公表などをご確認いただけます。 [山口市 財政](#)



# 市政トピックス

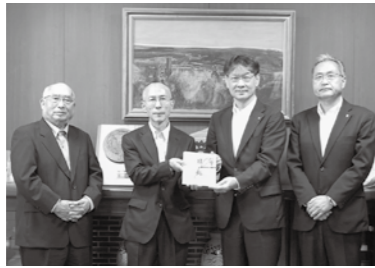


ウェブサイトでも公開中

## 株式会社タナカハウジングから寄付金を受贈

8月29日（火）、株式会社タナカハウジング様から100万円を寄附いただきました。

株式会社タナカハウジングは、本市の小郡地域に事業所を置き、金属建具やガラス、シャッター等の工事請負を行っています。この度、創業100周年を迎えるにあたり、小郡地域の小・中学校の学校活動の振興に資する費用としてご寄附いただいたものです。



▲記念撮影の様子（左から、株式会社タナカハウジングの田中英在取締役会長、田中尚吾代表取締役、市長、教育長）

市長は「創業以来、本市の地域経済の発展や地域社会の活性化への多大なるご貢献に感謝している。いただいた寄付金は、しっかりと活用していきたい」と感謝の意を述べました。

☎ 教育総務課 ☎ 083・934・29947

## 株式会社アイシンからの派遣職員が着任しました

9月1日（金）、総務省が推進する「地域活性化起業者」として、株式会社アイシンから本市へ派遣された後藤浩次さんの辞令交付式を行いました。



▲辞令を手にする後藤さん（右）と市長

「地域活性化起業者」とは、地方公共団体が三大都市圏に所在する民間企業の社員を一定期間受け入れ、地域の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事してもらうことで、地方圏への人の流れを創出することを目指すものです。

辞令交付式で、市長は「阿東地域の課題解決や交流人口の創出に向けた取り組みの素晴らしい戦力として期待している」と述べました。

後藤さんの任期は令和6年3月31日まで（最長3年）で、配属先の阿東総合支所地域振興課で、交通弱者

## 台湾出身の国際交流員が着任しました

台湾出身の盧章合さんを国際交流員として任用し、9月1日（金）に辞令交付式を行いました。

本市では、観光の分野でインバウンド観光誘客を重点的に進めており、台湾出身の国際交流員ならではの視点により本市の魅力発信することで、積極的なPRを行っていきます。



▲辞令を手にする盧さん（右）と市長

盧国際交流員は、今後、台湾の観光向けの情報の収集や自身の持つネットワークを活用した情報発信、台湾との交流事業等に取り組みます。

☎ 観光交流課 ☎ 083・934・28010

## 表紙の写真

「心を一つに！みんなでジャンプ」

表紙の写真は、9月3日に開催された市民スポーツ大会の競技種目の一つ、ロープジャンピング10（長縄跳び）でのひとコマです。今年、5つの競技に市内21地域から約1900人が参加しました。気軽に楽しめる陸上レクスポーツは、4年ぶりの開催となりました。10人のメンバーが3分間で長縄を跳んだ回数を競う、ロープジャンピング10。各チームのメンバーだけではなく、地域の皆さんも一緒に回数を数えながら声援を送り、最後まで一生懸命跳び続ける姿が印象的でした。

子どもから大人まで、一緒にスポーツを楽しみながら親睦を深める様子を見てみると、どこかほっこりとした温かい気持ちになると同時に、来年もまた、たくさん笑顔や元気いっぱいプレーを見たいと楽しみにしていました。

☎ 広報広聴課 ☎ 083・934・2753



グラウンド・ゴルフの会場では、和気あいあいとした雰囲気の中、参加者たちが軽快なショットを次々と決めていました。

**圏域の市町におでかけしよう!**  
※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

**美祢** カルスト台地で満天の星座観察



国立天文台監修の本格的な望遠鏡を使って、360°大パノラマの秋吉台で星を観察しよう!  
(ウェブサイト申込フォームから要事前申し込み)

**日時** 10月14日(土)、21日(土) ①17時…望遠鏡キット作成(軽食付き)、②19時…星空観察のみ

**場所** 秋吉台展望台カルスターほか(秋芳町秋吉 11237-862)

**定員** 25人(最少催行人員10人)

**料金** ①7,500円、②3,500円

**問い合わせ** 美祢市観光協会 ☎0837-62-0115

**山陽小野田** スマイル・ハロウィンさんようおのだ2023



スマホスタンプラリーや、食・文化・音楽・スポーツ等に関するさまざまなイベントを開催します。10月15日(日)12時から、おのだサンパークで、仮装パレードやスカイランタンなどを楽しめるスマイル・ハロウィンパーティーを開催します。

**期間** 10月1日(日)～31日(火)

**場所** 市内各所  
**問い合わせ** スタジオ・スマイル事務局(シティセールス課内) ☎0836-82-1241

**萩** 名勝指定100周年記念・萩ジオパーク認定5周年記念特別展「長門峡—峡谷の美景—」



大正12年(1923)3月7日、長門峡は国の名勝に指定されました。萩市と山口市に跨る長門峡の雄大な自然や、長門峡の歴史や長門峡を描いた絵も展示します。

**日時** 10月7日(土)～12月3日(日) 9時～17時(入館は16時30分まで)

**料金** 一般700円、高校・大学生400円、小中学生100円

**所蔵** 萩博物館(堀内355)

**問い合わせ** ☎0838-25-6447

**宇部** まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾



令和3年度からスタートした「まちじゅうエヴァンゲリオン」。第3弾となる今回は、これまでの内容をさらにバージョンアップし、エヴァとともに宇部市の魅力をまちじゅうで体感していただきます。

**期間** 10月6日(金)～令和6年1月8日(月・祝)

**場所** 市内各所  
**問い合わせ** 宇部市観光交流課 ☎0836-34-8353

**津和野** 「蘭学・洋学三津同盟」締結記念巡回展 結成150周年 文明開化と明六社 -津山・津和野・中津の思想家たち-



▲西周がオランダから持ち帰った顕微鏡

今年は、津和野町を含む3市町にゆかりのある西周らが参加した「明六社」の結成150周年にあたります。本展では、彼らが明六社や「明六雑誌」を通じて新しい物の見方や思想をどのように捉え、広く啓発したかを紹介します。こちら

**日時** 9月30日(土)～11月5日(日) 8時30分～17時(火曜休館)

**料金** 一般400円、中高生300円、小学生150円

**所蔵** 津和野町郷土館(森村口127)

**問い合わせ** ☎0856-72-0300

**防府** 愛情防府フリーマーケット



4年ぶりの開催となる西日本最大級の愛情防府フリーマーケット。企業・商業者・行政・商工業者が一体となって、イベントを盛り上げます。こちら

**日時** 10月21日(土) 9時30分～15時30分

**場所** JR防府駅周辺・防府市中心市街地

**問い合わせ** 防府商工会議所 ☎0835-22-4352

# 令和6年4月1日採用 山口市職員採用試験

本市が目指す「ずっと元気な山口」の実現に向けて、まちづくりを担う職員を募集します。

**1次試験** **11月19日(日)**

**受付期間** 10月1日(日)～31日(火)  
※詳細はウェブサイトでご確認ください。

**【場 所】** 山口総合支所(亀山町2-1)  
**【申込方法】** 電子申請  
右の二次元コードまたは下のURLから申請が可能です。  
☎ <https://www.city-yamaguchi-saiyo.jp/form/37>

**【場 所】** 山口市 職員採用 **検索**

**問い合わせ** 職員課 ☎083-934-2727

試験区分	試験職種	採用予定人数	受験資格
社会人経験者	行政	若干名	昭和53年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた方 ※職務経験の有無は問いません。
技能	環境衛生整備員	若干名	昭和59年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方で、 中学校卒業以上の学歴を有する方
	給食調理員	若干名	

知れば、もっと楽しい!

## 山口情報芸術センター Yamaguchi Center for Arts and Media 見どころガイド vol.5

問 山口情報芸術センター [YCAM] ☎083-901-2222

### 遊びから学ぶ

「遊び」と「芸術表現」との間には多くの共通点があります。ものごとを捉える視点をズラす発想力、自分や他者の特性を見つめるまなざしや感情の共有、それから日常生活から離れて没入することなども共通点として挙げられるでしょう。「遊び」の概念は、YCAMの活動の隠れたキーワードと言えるかもしれません。

2012年からスタートし、現在も続く子ども向けの遊び場環境「コロガル公園シリーズ」、2015年に開催した特殊なオブジェクトから子どもたちが遊びを生み出す様子を捉える展覧会「Think Things—『もの』と『あそび』の生態系」など、遊びを通じて自発的な学びを促すような取り組みは数多く実施してきました。しかし、遊びは子どもたちだけのものではありません。



「Think Things—『もの』と『あそび』の生態系」の様子

10月28日(土)から開催する展覧会「あそべる図書館—Speculative Library」は、館内に設置されたいくつかの仕掛けを通じて、山口での暮らしを彩る新しい視点を生み出し、そして日常生活におけるアートセンターの役割を改めて検討しようとするものです。来場者がラジオ番組をつくったり、会話を録音したりすることができるスペース「あそべるラジオ局」や、市内の町並みを擬似的に散歩しながら、みんなの記憶や思い出を旅するゲーム「メモリー・クエスト」などさまざまな仕掛けが用意されています。



「あそべる図書館—Speculative Library」の会場のイメージ

この機会にぜひご鑑賞ください。



# イベントカレンダー

10/7 (土)

山口ゆらめき回廊

所 香山公園

問 大路口ビー

☎ 083-920-9220

公園内の回廊を約 1,000 個のキャンドルで照らします。また、約 1,500 個のキャンドルで、瑠璃光寺五重塔の絵 (1/2 サイズ) を描きます。



10/8 (日)

湯田温泉酒まつり

所 井上公園周辺

問 湯田温泉酒まつり実行委員会

☎ 050-5309-3503

山口の地酒と食を堪能できるイベントです。



10/9 (月・祝)

スポーツフェスタ 2023

所 やまぐちリフレッシュパーク

問 スポーツ交流課

☎ 083-934-2875

さまざまなスポーツを体験できるイベントです。餅まきやキッチンカーの出店もあります。

10/15 (日)

やまぐち伝統芸能フェス in 菜香亭

所 山口市菜香亭

問 文化交流課

☎ 083-934-4155

菜香亭大広間にて市内の伝統芸能団体 4 組が演技を披露します。

山口鷲流狂言保存会 ▶



小鯖代神楽舞保存会 ▶



赤崎神社十二の舞保存会 ▶



土居神楽舞保存会 ▶



山口みどりのフェスタ

所 亀山公園山頂広場

問 都市整備課

☎ 083-934-2832

企画展「吉敷毛利家の軌跡  
一郷土史料の新・再発見」  
ギャラリートーク (展示解説)

れきみんファミリーデー「石うす・薬研」

所 歴史民俗資料館

☎ 083-924-7001

10/22 (日)

中野記念館無料開館

所 中野中野記念館

☎ 083-932-6430

中野中野の 86 回目の命日 10 月 22 日の「中野中」は、無料で入館できます。



開催中のイベント

11/26 (日) まで

企画展「小郡黒鐵黄金時代」

所 小郡文化資料館

☎ 083-973-7071

J R 山口線全線開通 100 周年・旧桂ヶ谷貯水池堰堤竣工 100 周年の記念事業として、鉄道を水で支えた堰堤と小郡機関区全盛期の鉄道を中心とした企画展を開催しています。

12/25 (月) まで

十朋亭維新館開館 5 周年記念展  
「木戸孝允生誕 190 年 大道行くべし～桂小五郎から木戸孝允へ～」

所 十朋亭維新館

☎ 083-902-1688

長州藩の政治リーダーへと成長していく幕末期を中心に上げるとともに、萬代家との関わりについても紹介します。

スポーツの秋の到来!

清々しい青空と風を感じるスポーツの秋を迎えました。

本市では、スポーツを「する」「みる」「ささぐる」の視点のもと、市民の皆さんが幅広くスポーツに親しむことができる取り組みを進めています。

こうした中、先月の 3 日には、実に 4 年ぶりに全競技が行われる山口市民スポーツ大会を開催しました。大会には、競技に参加する人のほか、応援する人や、役員としてチームを支える人など、約 1900 人の皆さんが参加され、改めて人と人を繋ぐことで、一体感や活力を与えてくれるスポーツの素晴らしさを実感したところです。



本市では、今月 9 日のスポーツの日、いろいろなスポーツが気軽に体験できる「山口市スポーツフェスタ 2023」を初めて開催します。皆さんには、こうしたさまざまなイベントに参加され、スポーツの秋を満喫していただきたいと存じます。我々がレノファ山口の今シーズンも終盤を迎えています。最後まで熱く応援してまいります。最後まで熱く応援してまいります。



山口市長  
伊藤和貴

